

平成29年第17回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日：平成29年11月21日（火） 於：第3委員会室

II 開会時間：15時30分

閉会時間：17時15分

III 出席委員：教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 近藤 寿子
 委員 野田 洋二 委員 川口 雅之
 委員 大川 佳郎

IV 欠席委員：－

V 出席者氏名：教育次長 岡本 隆 教育総務課長 服部 克巳
 学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
 社会教育課長 藤原 記子
 （書記） 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成29年第16回教育委員会会議（H29.11.7）の議決事項等について

教育長報告：なし

議 事：議案第30号 玉野市文化会館条例施行規則を廃止する規則について

協 議：就学援助費新入学児童生徒学用品費の前倒し支給について

そ の 他：平成29年度教育委員県外先進地視察について 他1件

（承認）

3. 教育長の報告

(1) 平成29年度 教育委員県外先進地視察について

4. 議 事

(1) 「議案第31号 玉野市立体育施設の指定管理者の指定について」

(教育次長) 資料により説明。

(承認)

5. 協 議

(1) 「平成28年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」

(教育総務課長) 資料により説明。

(2) 「今後進める玉野市の教育改革について」

(学校教育課長) 資料により説明。

■ 中学校区一貫教育の制度化について

(野田委員) 中学校区教育目標とあるが、中学校区内の小中学校は教育目標を揃えよというものか。

(学校教育課長) まず中学校区教育目標があり、それを受け、小・中学校はそれぞれ教育目標を掲げる。

(野田委員) 学校名称は宇野学園や玉学園としなければならないのか。

(学校教育課長) 他市の一貫教育校は〇〇学園としているところが多いが必須ではない。「一貫教育校玉野市立〇〇学校」とすることも可能だ。

(近藤委員) 趣旨は理解するが、学園という言葉に違和感がある。この名称はどのような場面で使われるのか。

(学校教育課長) 封筒や学校要覧等に使用する。普段は使用しない。

(教育長) 先進的に実施した三鷹市の例に依ってこのような名称になっていることが多いが、他のものでもよい。

(野田委員) 校長会の反応はどうか。

(学校教育課長) 今のところ抵抗があるという声は無い。

規則(案)と実施要領(案)をもう少し整理して12月に示す。
12月に決定し4月から実施する事としたい。

■ コミュニティスクールの導入について

- (野田委員) 規則(案)に、年度ごとの経営方針等は協議会の承認を得ることとある。新年度から実施するには2月～3月には決めておく必要がある。校長の異動を考えると無理があるのではないか。
- (教育長) 校長の行動にストップをかける機関ではない。校長が新任の場合は事後承認の形になってもよいのではないか。
- (野田委員) 地域の会議とコミュニティスクールが一緒に活動できる機会があればよいと思う。
- (学校教育課長) 各校長や青少年健全育成協議会等からも同様の話がある。校長の負担軽減にもつながるので、うまく整理できればよい。

■ 玉野備南高校への通級指導教室設置について

- (野田委員) 昨日の県外視察では、高等学校の通級指導は他校生徒の受け入れはしないものと解釈したが。
- (教育長) 西宮香風高校は生徒数が多く、受け入れの環境整備に時間がかかるようだ。岡山県の方針として、他校への波及効果にもねらいがある。小学校とは異なり、通級指導の先生が他校を訪問しサポートすることで、多くの学校に波及させるという考え方になると思われる。

■ 教育研究指定について

- (野田委員) 中学校区で分けることは良いと思う。研究テーマの選択も中学校区に任せるのか。
- (学校教育課長) 何をテーマとしてもよいが、発表時に中学校区全体としての総括を入れるようお願いしていきたい。
- (野田委員) 幼稚園はどうなのか。
- (学校教育課長) 現在幼稚園は小規模化しているため人力的な理由から止めている。就学前の各園には、協力を意識してもらおうというスタンスになる。

■ 教育研修所の廃止について

- (野田委員) 県教委の授業研究とはどのようなものがあるか。
- (学校教育課長) 魅力ある授業づくり推進事業などの授業研究を活用していく。
- (野田委員) 他校の授業見学などは校長会に任せるということか。
- (学校教育課長) そのとおりだ。

《石川教育長公務退席のため、近藤教育長職務代理者に司会交代》

6. その他

(1) 平成29年 12月補正予算の概要について

(教育総務課長) 資料により説明。

(学校教育課長) 資料により説明。

(2) 平成26～28年度 施設整備計画の事後評価について

(教育総務課長) 資料により説明。

(3) 玉野市立商工高等学校機械科の進捗状況について

(学校教育課長) 資料により説明。

(大川委員) 宮原製作所で実習をする際は、どのような通学形態になるか。

(学校教育課長) 実習先へ直接登校する。昼休みに宮原製作所から三井造船に移動することも想定される。

(近藤委員) 入試は併願可能か。

(学校教育課長) 機械科とビジネス情報科の希望順を書けるようにする。

(近藤委員) オープンスクールの手応えはどうか。

(学校教育課長) 市内の生徒のみであるが、機械科志望者は30人くらいいた。加えて市外から10人程度の受験があれば定員を上回ることができる。

(近藤委員) レベルはどうなるのか、受験者数が多いのではないかといった不安を耳にすることがある。

(4) 平成30年度 始業日等について

(学校教育課長) 資料により説明。

(5) 平成29年 12月／平成30年 1月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。

次回、教育委員会は平成29年12月26日（火）15：30から開催するので参
集願います。

以上で、第17回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



〃

教育長職務代理者

近藤 寿子

